

校訓「文武不岐」  
高朋高等学校だより  
令和4年度3月号

発行者 高朋高等学校  
住所 富山市東富山寿町 1-1-39  
TEL (076) 437-9940  
e-mail koho@koho.ac.jp

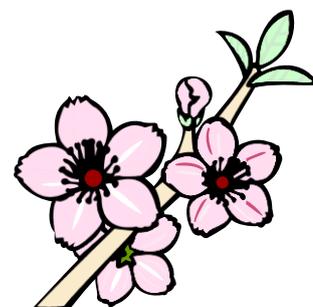
### 力を信じて新学期へ

残雪も姿を消し、暖かい日差しに春を感じるようにもなり、今年度もあとわずかとなりました。新型コロナウイルスの影響で制限されてきたことも、徐々にゆるめられてきており、これからの生活に期待が持てることも増えてくるのではないかと思います。

しかし、期待してよいことだけでなく、思い通りにいかないこと、我慢しなければいけないこと、それにより悩むことはまだまだあるでしょう。

皆さんはこれまでに、仲間に自分の思いを伝え、また仲間の思いを知り、お互いの意見を出し合うことで、少しずつ連帯感や信頼関係を築きあげてきたと思います。そこで感じるいろんなことが、自分を動かす力になっていませんか。仲間とともにお互いを認め合うよさを感じることで、自分の見方や考え方を広げること、そして協力し合えるようになることが大切だと思います。その時間や経験が先に書いた悩みなどを解決していく力、支えになると思います。少しずつでもそうなれる自分を目指してください。

寒かった冬が終わり、いよいよ春です。これまで仲間とともにたくさんのことを経験し、仲間とつながる力をつけてきました。その力を信じて、4月から始まる新学期へと踏み出して欲しいと願っています。



教頭 柿澤 祐介

## 第2学年 研修旅行 ～長崎を訪ねて～

第2学年は、平和学習や国際理解などを目的として、3月7日（火）から10日（金）までの日程で長崎県へ研修旅行に行きました。

ハウステンボスでは、班ごとに外国人コーチと場内を回り、様々な英語のミッションをこなしていく英語体験プログラム「ミッションフィールド」に挑戦しました。また、長崎原爆資料館の見学では、語り部さんから被爆体験の講話をお聴きしました。さらに、戦時中に小学生が掘った防空壕「無窮洞」も見学しました。これらの体験を通して、戦争、原爆の悲惨さや平和の尊さを実感しました。

旅行中は、天候にも恵まれ、生徒は多くのことを体験し有意義な時間を過ごしました。



【英語体験プログラム】



【被爆体験講話】



【無窮洞】

## 卒業証書授与式 ～堂々と立派な人生を～

3月1日(水)午前10時から、第43回卒業証書授与式を行いました。

開式を待つ保護者の皆様には、生徒たちの高校生活の思い出を綴ったスライド(第3学年教職員が制作)を見ていただきました。

温かい拍手に包まれて卒業生が入場したあと、卒業生総代の中村紀亮さんに塩莉校長が卒業証書を授与しました。

式辞で塩莉校長は、星陵高校野球部名誉監督 山下智茂さんの『花よりも花を咲かせる土になれ』の言葉をもとに、「今後の人生、花となることも、土となることもあるでしょう。どちらになっても堂々と立派な人生を送ってください。」と<sup>はなむけ</sup>餞の言葉を送りました。

理事長の告辞に続き、来賓の後援会長 松本浩二様と同窓会長 岩脇秀三様から祝辞をいただきました。卒業生は、真剣に話を聴き、それぞれの言葉を心に刻んでいました。

送辞では、在校生代表の三浦歩夢さんが、お世話になった卒業生への感謝の気持ちを伝えました。

これを受けて、卒業生代表の大山アリサさんが答辞で、「まだ友達と笑い合い、後輩や先生方と時間を共にしたいのですが、名残は尽きません。今日また成長しなければなりません。」と別れを惜しみつつ、自分たちの成長を誓いました。

式は終始、厳粛かつ温かな雰囲気の中で執り行われ、出席者全員で卒業生の門出を祝いました。

式の終了後、卒業生は、教室で最後のホームルームを行ったあと、在校生、保護者、教職員が見送る中、晴れ晴れとした表情で学び舎を巣立っていきました。



【晴れの日を迎えた卒業生】



【卒業証書授与】



【校長 式辞】



【答辞】

### 【4月の主な行事予定】 (変更になることがあります)

4月5日(水)	教科書販売	4月14日(金)	身体測定、前期生徒会選挙
4月8日(土)	午前：退任式、新任式、始業式 午後：入学式	4月17日(月)	振替休業日(4月8日(土)の振替)
4月10日(月)	対面式、前期生徒会選挙告示	4月20日(木)	交通安全教室
4月11日(火)	創校記念式	4月28日(金)	生徒総会